

令和元年度 事業報告

社会福祉法人川崎市幸区社会福祉協議会

令和元年度事業報告

	内 容	頁
1	法人運営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	調査研究事業・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	企画広報事業・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4	連絡調整事業・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・	6
6	地域福祉活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・	7
7	在宅福祉活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・	9
8	共同募金配分金事業・・・・・・・・・・・・・・・・	12
9	ボランティア活動振興事業・・・・・・・・・・・・・・・・	19
10	福祉パルさいわい受託経営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	21
11	生活福祉資金貸付業務受託事業・・・・・・・・・・・・・・・・	21
12	金品援護事業・・・・・・・・・・・・・・・・	22
13	老人いこいの家管理経営事業・・・・・・・・・・・・・・・・	22
14	さいわい健康福祉プラザ（老人福祉センター）管理経営・・・・・・・・	26
15	日常生活自立支援受託事業（幸区あんしんセンター）・・・・・・・・	27
16	川崎市幸区支会団体事務（共同募金運動）・・・・・・・・	27
※	福祉パル利用統計・・・・・・・・	28

1 法人運営事業

理事会、監事会、評議員会、評議員選任・解任委員会等を開催するとともに、必要に応じて各種委員会を開催し、組織運営と事業の推進を図りました。

(1) 理事会、監事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

会議名	開催日	主な内容	結果	会場
監事会 (第1回)	5月29日	1 平成30年度事業ならびに決算処理についての監査 2 理事会・評議員会での監査報告の役割について 3 次期監事候補について 4 その他	承認 理事会 橋本監事 評議員会 小林監事 承認	福祉パル さいわい 研修室
理事会 (第1回)	6月7日	1 法人合併契約の締結について 2 平成30年度事業報告について 3 平成30年度決算報告について 4 監事監査報告について 5 定款、諸規程の改正について 6 評議員選任・解任委員会後任委員の選任について 7 監事候補者の選出について 8 評議員候補者の選出について 9 第17回川崎市幸区社会福祉大会について 10 入会の申し込みについて 11 定時評議員会の開催について 12 その他	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認	さいわい健康 福祉プラザ 機能回復 訓練室
評議員会 (第1回)	6月26日	1 法人合併契約の締結について 2 合併後の理事候補者及び評議員候補者について 3 平成30年度事業報告について 4 平成30年度決算報告について 5 監事監査報告について 6 定款の変更について 7 理事・監事の選任について 8 第17回川崎市幸区社会福祉大会について 9 その他	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認	幸市民館 第2・3会議室
理事会 (第2回)	6月26日	1 正副会長の選任について 2 合併後の理事候補者及び評議員候補者について 3 顧問の委嘱について 4 評議員選任候補者の推薦について 5 その他	佐藤会長 楢林副会長 加藤副会長 を選任 承認 承認 承認	幸市民館 第2・3会議室
理事会 (第3回)	8月27日	1 第17回川崎市幸区社会福祉大会について 2 合併後の常任委員会・運営協議会について 3 移送サービス事業について 4 評議員選任候補者の推薦について 5 会員の入会について 6 その他	承認 承認 承認 承認 承認 承認	福祉パル さいわい 研修室
評議員 選任・解任 委員会 (第1回)	9月17日	1 評議員の選任について 2 その他	承認	福祉パル さいわい 研修室
理事会 (第4回)	11月26日	1 令和元年度第1次補正予算案について 2 合併後の常任委員会設置規程案並びに 運営協議会設置要綱案について 3 評議員会の開催について 4 その他	承認 承認 承認	福祉パル さいわい 研修室
評議員会 (第2回)	12月17日	1 令和元年度第1次補正予算案について 2 理事の選任について 3 その他	承認 承認	幸市民館 第1会議室

会議名	開催日	主な内容	結果	会場
理事会 (第5回)	12月20日	1 後任副会長の選任について 2 常任委員会選任要綱案並びに運営協議会設置要綱案、 会員要綱案について	村田副会長 を選任 承認	福祉パル さいわい 研修室
理事会 (第6回)	2月19日	1 令和2年度事業計画案・予算案について 2 常任委員会委員の選任について 3 運営協議会委員の選任について 4 評議員会の開催について 5 その他	承認 承認 承認 承認	福祉パル さいわい 研修室
評議員会 (第3回)	3月2日	1 令和2年度事業計画案・予算案について 2 その他	承認	幸市民館 第1会議室
理事会 (第7回)	3月23日	1 市社協に承継する資産・負債について 2 その他		福祉パル さいわい 研修室
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略（書面による審議）				
評議員会 (第4回)	3月24日	1 市社協に承継する資産・負債について 2 その他		幸市民館 第1会議室
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、決議の省略（書面による審議）				

(2) 区社協役員研修会の開催**※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止**

開催日	主な内容	会場
2月27日	「台風19号の災害に学ぶ ～災害時の対応と災害ボランティアセンターの役割～」 講 師 川崎市総務企画局危機管理室 室長 飯 塚 豊 氏 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 福祉部ボランティア活動振興センター 所長 塚 田 治 孝 氏 ①講 義 ②質疑応答 ③交流会	さいわい健康 福祉プラザ 機能回復 訓練室

(3) 地区社協連絡会議の開催

	開催日	主な内容	結果	会場
第1回	6月12日	1 区社協賛助会員募集について ①平成30年度実績について ②令和元年度募集について ③募集資材について 2 地区社協事業に関する情報交換 ①第17回川崎市幸区社会福祉大会について ②第16回プラザ祭りについて ③地域課題の把握と地区社協と連携した課題解決の 仕組み作りについて ④助成事業等の見直しについて ⑤地区社協役員名簿の区役所への提供について 3 その他 ①外部会議の委員推薦依頼について	協議 情報交換 協議 協議	福祉パル さいわい 研修室

(4) 各種委員会の開催

会議名	開催日	主な内容	結果	会場
ボランティア センター 運営委員会	6月19日	1 令和元年度幸区社協ボランティアセンター 事業について 2 令和元年度グループ・団体等活動助成につ いて 3 その他	承認 承認	福祉パル さいわい 研修室

会議名	開催日	主な内容	結果	会場
	2月29日	1 令和元年度事業報告について 2 その他		さいわい健康 福祉プラザ 機能回復 訓練室
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止				
幸区の社会福祉 編集委員会	4月3日	1 『幸区の社会福祉』第116号について	協議	福祉パル さいわい 研修室
	7月2日	1 『幸区の社会福祉』第117号について	協議	福祉パル さいわい 研修室
	10月7日	1 『幸区の社会福祉』第118号について	協議	福祉パル さいわい 研修室
	12月7日	1 『幸区の社会福祉』第119号について	協議	福祉パル さいわい 研修室
	3月24日	1 『幸区の社会福祉』第120号について	協議	福祉パル さいわい 研修室
生活福祉資金 貸付調査委員会	7月10日	1 平成30年度事業報告について 2 2019年度事業について	協議 協議 協議	福祉パル さいわい 研修室
年末たすけあい 配分委員会	7月10日	1 平成30年度報告 2 令和元年度年末たすけあい運動配分計画について	協議 対象要件を決定	福祉パル さいわい 研修室
	12月18日	1 副委員長の選出について 2 令和元年度年末たすけあい配分について	協議 配分額を決定	福祉パル さいわい 研修室
種別会議（1種）	4月18日	1 任期満了に伴う理事及び監事候補者の選出について 2 意見交換	協議 情報交換	さいわい健康 福祉プラザ 機能回復訓練室
	3月18日	1 機関紙編集委員会の委員選出について 2 幸区社協ボランティアセンター運営委員会の委員選出について 3 意見交換		福祉パル さいわい 研修室
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止				
種別会議（6種）	4月18日	1 任期満了に伴う理事候補者の選出について 2 意見交換	協議 情報交換	さいわい健康 福祉プラザ 機能回復訓練室
	3月18日	1 機関紙編集委員会の委員選出について 2 幸区社協ボランティアセンター運営委員会の委員選出について 3 意見交換		福祉パル さいわい 研修室
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止				
種別会議（7種）	2月29日	1 機関紙編集委員会の委員選出について 2 幸区社協ボランティアセンター運営委員会の委員選出について 3 意見交換		さいわい健康 福祉プラザ 機能回復訓練室
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止				
種別会議（8種）	4月18日	1 任期満了に伴う理事候補者の選出について 2 意見交換	協議 情報交換	さいわい健康 福祉プラザ 機能回復訓練室

（５）賛助会員の募集

幸区社協賛助会員は、地区社協の協力を得て、加入の促進を図りました。また賛助会費は、区・地区社協の事業財源として、地域に密着した福祉活動の展開に活用されました。

令和元年度状況

	件数（件）	実績額（円）
令和元年度	5,447	7,686,029
平成30年度	5,655	7,972,500
	-208	-286,471

件数内訳（件）

地区社協	令和元年度	平成30年度	差異
南河原	1,013	1,046	-33
御幸東	905	946	-41
河原町	440	470	-30
御幸西	1,919	1,998	-79
日吉第1	497	513	-16
日吉第2	231	244	-13
日吉第3	442	438	4
事務局取扱	0	0	0
合計	5,447	5,655	-208

実績内訳（円）

令和元年度	平成30年度	差異
1,473,000	1,519,500	-46,500
1,356,000	1,395,000	-39,000
645,000	714,000	-69,000
2,278,029	2,376,000	-97,971
781,000	786,000	-5,000
466,000	494,000	-28,000
687,000	688,000	-1,000
0	0	0
7,686,029	7,972,500	-286,471

（6）実習生・福祉学習の受入

福祉の学習や資格取得のための実習生など、将来の現場を担う人材養成に以下の通り協力しました。

実習開始	実習終了	日数	人数	学校名等	実習目的
8月26日	10月4日	24	1	日本社会事業大学 社会福祉学部3年	社会福祉士相談援助実習

区社協地域課・老人福祉センター・あんしんセンター、地区社協が実施する事業等で実習しました。

2 調査研究事業

（1）第4期地域福祉活動計画の進行管理

幸区役所の「地域福祉計画」と理念や目標、計画期間を一体的に策定した地域福祉活動計画の2年目にあたり、計画に沿った事業の実施に努めました。

3 企画広報事業

区民に向けた幸区の福祉についての情報提供と、本会の事業についての理解を広く求めることを目的とした機関紙「幸区の社会福祉」を年4回発行し、町内会・自治会の協力により全戸配付しました。

また、区社協関係者を対象にした情報紙「幸区社協通信」を毎月発行しました。

さらに、当事者団体・ボランティアグループや社協関係者を対象に、川崎市幸区社会福祉大会を開催しました。

コミュニティや世代交流づくりの一つとして「さいわい健康福祉プラザ」全館を開放して実施する『プラザ祭り』は、平成28年度から幸区民祭と同日開催（2日間）とし、幸区民生委員児童委員協議会並びに幸こども文化センターとの共催で多数のボランティアの協力を得て世代や地域にとらわれない交流イベントとなっております。

また、地区社協が出展する福祉作品展及び区民児協の広報啓発事業に協力し、福祉関係者をはじめ多くの区民の福祉に関する理解を深めるとともに、相互の交流を図ることができました。

(1) 機関紙「幸区の社会福祉」の発行

第116号(平成31年 6月)

第117号(令和元年 9月)

第118号(令和元年12月)

第119号(令和2年 3月)

(2) 情報紙「幸区社協通信」の発行

対 象 区社協理事・監事・評議員・顧問・地区社協常務理事・町会長・民生委員児童委員・福祉施設・関係機関及び団体

部 数 550部

発 行 月1回

内 容 区社協または地区社協等月間予定表、事業のお知らせ、報告、福祉情報等

(3) 第17回川崎市幸区社会福祉大会の開催

開催日 令和元年9月26日(木)

会 場 幸市民館大ホール

内 容 第1部 顕彰式典(表彰・感謝)

第2部 記念映画上映 「体操しようよ」

参加者 約500名

(4) 第16回プラザ祭りの開催(幸区民祭と同日開催)

開催日 令和元年10月19日(土)～20日(日)

会 場 幸区役所・さいわい健康福祉プラザ・幸こども文化センター

内 容 赤ちゃんよーいどん!、竹細工体験、手話・車椅子体験、健康味噌汁の試飲、バザー、作って遊ぼう、昔遊び、野菜の重さクイズ、バルーンアート、地区社協が実施している地域リハビリ教室やミニ・デ이의福祉作品展示、区社協ブースでの事業啓発、作業所自主製品販売、缶バッジ作りほか

参加者 12,000人(昨年度13,800人)

(5) 幸区社協ホームページの運営

内 容 各事業の紹介、地区社協活動報告、イベントの紹介・報告など

閲覧数

(単位:回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
881	848	810	950	904	939	1,232	1,011	958	1,037	994	1,464	12,028

[アドレス <http://www.saiwaiku-shakyo.jp/>]

4 連絡調整事業

福祉関係機関、団体等の主催する会議等に積極的に参加して連携強化、福祉のネットワークづくりに努めました。

(1) 幸区地域包括ケアシステムネットワーク会議

幸区における地域住民、企業、関係団体等と行政が川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づく協議・情報共有を図るために設置された幸区地域包括ケアシステムネットワーク会議に出席しました。また、幸区地域包括支援センター運営協議会にも出席しました。

(2) 幸区こども総合支援ネットワーク会議

幸区におけるこども支援担当及び関係機関等で構成されている「ネットワーク会議」に参画

し、子どもたちが地域の中で安全安心に暮らしていくための情報交換や相互協力による事業の開催や子育て情報紙の改定等を行いました。

5 助成事業

市社協からの高齢者ふれあい活動助成金を、「高齢者ふれあい会食会」や「小規模デイサービス」「配食」活動を実施している地区社協やボランティアグループに対して、区社協より上乗せして助成（8 共同募金配分金事業）しました。各地区社協のリハビリミニデイ事業に対して助成（8 共同募金配分金事業）、各地区社協に子育て支援費の助成を行いました。また、区内で活動している当事者グループ、ボランティアグループに対する助成（8 共同募金配分金事業）をおこないました。

高齢者ふれあい活動等助成

助成団体	上乗せ助成金額（円）
南河原地区社協	80,000
御幸東地区社協	100,000
河原町地区社協	80,000
御幸西地区社協	80,000
日吉第1地区社協	80,000
日吉第2地区社協	80,000
日吉第3地区社協	80,000
日吉第二地区民児協	40,000
南河原さくら草の会	20,000
いこいの館	20,000
合 計	660,000

リハビリミニデイ助成

助成団体	内容	助成金額（円）
南河原地区社協	すこやかサロン	80,000
日吉第1地区社協	ひろばかしまだ	80,000
日吉第3地区社協	脳とからだの若返りトレーニング教室	80,000
合 計		240,000

子育て支援事業助成

助成団体	助成金額（円）
南河原地区社協	50,000
御幸東地区社協	50,000
河原町地区社協	50,000
御幸西地区社協	50,000
日吉第1地区社協	50,000
日吉第2地区社協	50,000
日吉第3地区社協	50,000

当事者グループ・ボランティア団体等活動助成

①障害者等当事者団体（2団体）

No.	団体名	助成により期待される活動の効果	助成額（円）
1	健やかリハビリ会	孤立防止、交流、健康維持の促進につながる	20,000

No.	団体名	助成により期待される活動の効果	助成額（円）
2	NP0 法人くるみー来未	特別支援学校高等部の生徒を中心に、自主的なイベント企画・参加により、社会的孤立を防ぎつつ、社会参加と生きる力を伸ばす	50,000
合 計			70,000

②ボランティアグループ（11団体）

No.	団体名	助成により期待される活動の効果	助成額（円）
1	手話サークル幸の会	公共の場で手話でコミュニケーションすることや、広報等で入門手話講習会への参加を呼びかけ、手話の使用を促進することにより、一人でも多くの聴覚障害者を支援する人材を育成できること。	25,000
2	幸和会	「地域社会に根ざしたボランティア活動」が実現できるとともに、幸区内での社会福祉ボランティアの活性化に繋がり、高齢者、障害者、未就学児童などへの更なる多大な貢献が期待される。	20,000
3	手話サークル ひまわりの会	講習会や交流会などに参加し、手話の学習通し聴覚障害者の暮らしや文化の違いを学び、聴覚障害者を理解してもらうことで、共に暮らしやすい社会、街づくりに繋がる。	15,000
4	移送奉仕団体 移送さいわい	車いす利用者移動時の技術向上、安全な活動に繋がる。	70,000
5	傾聴ボランティア さいわい	施設では人材不足ということもあり、話したい、聞いてほしいと思っている方が多くいる。傾聴ボランティアを広く伝えることで地域交流にも繋がる。個人宅訪問は見守りにもなる。	70,000
6	手話サークル 太陽の会	小学校への授業協力をはじめ、情報文化センターまつり、災害訓練、区民祭、手話体験講座への参加協力し、市域社会への手話紹介、聴覚障害を持つ人たちへの理解を促す。	45,000
7	幸の会	地域ニーズや環境に応じて、社会貢献活動を通し、福祉現場で頑張っている職員と出会い、その中で活動の意義や喜びを感じ、温かい心と手で人々のお手伝いをすることで、ボランティア精神の元で利用者との対等性を考えられる。	50,000
8	幸区食生活改善推進員 連絡協議会	地域の方に野菜や薄味の習慣の定着をすすめ、健康の邁進を図ることができる。子ども達の料理への関心を高めることができる。	45,000
9	夢見ヶ崎プレーパーク をつくる会	子どもがのびのびと遊ぶ場をつくることで、見守る様々な世代の大人が集まるきっかけにもなる。地域の子育て環境だけでなく、世代間交流を図るきっかけにもなる。	35,000
10	ちえままさろん	子育て中の母親の出会いの場を作ることによって育児ストレスの解消に繋げる。	40,000
11	高次脳機能障害 さいわい友の会	当事者が生きる喜びを感じられるようにレクリエーション活動・勉強会や、障害を知ってもらえるよう活動する。	5,000
合 計			420,000

この他以下の助成も行いました。

内 容	助成額（円）
第 69 回社会を明るくする運動 助成金	50,000
第 47 回リレーカーニバル 助成金	25,000
第 39 回幸区民祭 協賛金	50,000
幸区民児協 育成費	160,000
合 計	285,000

6 地域福祉活動事業

（１）精神保健福祉講座の開催

幸区における様々な精神保健福祉に関わる関係機関・団体で構成する幸区精神保健福祉連絡

会に参画するとともに、地域の保健福祉に関する課題を考え、住みよい地域づくりを目指し、講座を開催いたしました。

<幸区精神保健福祉連絡会>

	開催日	内 容
第1回	4月16日	令和元年度方針 総会打ち合わせ 講座について
第2回	5月29日	総会打ち合わせ
総 会	6月7日	平成30年度事業報告・決算報告について 令和元年度事業計画・予算について
第3回	6月22日	総会の反省会、講座の打ち合わせ
第4回	7月26日	講座の打ち合わせ
第5回	8月28日	講座の打ち合わせ
第6回	10月1日	メンタルヘルス講座振返り
第7回	1月22日	メンタルヘルス講座振返り
第8回	2月26日	令和2年度メンタルヘルス講座について
第9回	3月16日	令和2年度メンタルヘルス講座について

<メンタルヘルス講座プログラム>

11月15日	令和元年度メンタルヘルス講座 身近にあるうつ病 どう向き合っていきますか？ 参加者 66 名 場所：さいわい健康福祉プラザ 3階機能回復訓練室 午前 「うつ病を知ろう～ライフステージから考える～」 講師：張 賢徳（帝京大学溝口病院精神神経科・教授） 午後 「私のリカバリーストーリー」 講師：田中 元（うつ病支援の会あさお代表）
--------	---

（２）総合相談事業

生活に関わるあらゆる問題への対応、個人の問題も地域の課題としてとらえ、地域での予防、解決をめざし、日々寄せられる様々な相談に対応しました。身近な相談窓口を目指し、区内のいこいの家6館、老人福祉センターにも総合相談窓口を設置しています。共通相談カードによる情報の共有化を図り、社協の組織をいかした相談対応に努めてまいりました。相談内容によっては社協内の各部署と連携をとりながら、スムーズな対応に心がけました。

相談内容	(件)
生活福祉資金	1,094
ボランティア依頼	43
ボランティア相談	36
その他	27
合計	1,200

（３）地区社協への助成

幸区社協賛助会費を財源に、地域福祉活動費助成金を地区社協へ交付しました。

地区社協	令和元年度	平成30年度	差異
南河原	1,178,400	1,215,600	-37,200
御幸東	1,084,800	1,116,000	-31,200
河原町	516,000	571,200	-55,200
御幸西	1,822,424	1,900,800	-78,376
日吉第1	624,800	628,800	-4,000
日吉第2	372,800	395,200	-22,400

地区社協	令和元年度	平成 30 年度	差異
日吉第 3	549,600	550,400	-800
合 計	6,148,824	6,378,000	-229,176

(4) 当事者グループ等活動支援

個別相談、個別ニーズへの対応、個人やグループ活動の支援をおこなっています。

当事者グループに対する助成（8 共同募金配分金事業）をおこないました。

No.	団体名	助成により期待される活動の効果	助成額（円）
1	健やかリハビリ会	孤立防止、交流、健康維持の促進につながる	20,000
2	NPO 法人くるみー来未	特別支援学校高等部の生徒を中心に、自主的なイベント企画・参加により、社会的孤立を防ぎつつ、社会参加と生きる力を伸ばす	50,000

7 在宅福祉活動事業

(1) 移送サービス事業

本会の自主事業として、平成10年7月より通常の交通機関を利用することが困難な高齢者・身体障害者を対象に「移送サービス事業」を開始し、現在2台の福祉車両で移送サービス事業を行っております。原則として、利用者の自宅玄関から目的地の入口までのサービスを登録ボランティア24名で調整して実施しました。

① 登録会員数（賛助会員数）

対象者	外出困難な 高齢者	外出困難な 身体障害者(1級)	外出困難な 身体障害者(2級)	その他	合 計
人 数	11 名	6 名	0 名	1 名	18 名

② 利用件数および目的地の状況 (件)

月	利用件数			目的地内訳				
	1号車	2号車	合計	幸区	川崎区	中原区	その他 川崎市内	横浜市
4月	5	6	11	5	3	3	0	0
5月	1	10	11	4	4	3	0	0
6月	1	11	12	6	4	2	0	0
7月	1	12	13	6	2	3	0	2
8月	1	12	13	6	5	2	0	0
9月	2	10	12	4	5	3	0	0
10月	0	5	5	3	0	2	0	0
11月	2	6	8	4	1	3	0	0
12月	1	5	6	2	2	2	0	0
1月	0	7	7	3	0	4	0	0
2月	0	4	4	2	0	2	0	0
3月	2	6	8	3	1	4	0	0
合 計	16	94	110	48	27	33	0	2
				44%	24%	30%	0%	2%

③ 利用目的の状況 (件)

月	通 院	施 設	会議・公共機関	合 計
4 月	11	0	0	11

月	通 院	施 設	会議・公共機関	合 計
5 月	11	0	0	11
6 月	12	0	0	12
7 月	13	0	0	13
8 月	13	0	0	13
9 月	12	0	0	12
10 月	5	0	0	5
11 月	8	0	0	8
12 月	6	0	0	6
1 月	7	0	0	7
2 月	4	0	0	4
3 月	8	0	0	8
合 計	110	0	0	110

(2) 移送ボランティアフォローアップ研修

開催日 令和2年1月30日(木) 午前9時～12時00分
 会 場 川崎市さいわい健康福祉プラザ3階
 内 容 「普通救命法講習1」 講師 川崎市消防防災指導公社
 参加者 13名

(3) 移送ボランティア交流会

開催日 令和2年1月30日(木) 午後1時～2時30分
 会 場 川崎市さいわい健康福祉プラザ3階
 内 容 情報交換
 参加者 13名

(4) 移送運転ボランティア研修の共催

開催日 令和元年11月30日(土)・12月1日(日)
 会 場 福祉パルみやまえ研修室、駐車場
 内 容 制度・接遇・介助・運転等の講義、運転・介助等の講習
 講師・指導 川崎市宮前区社会福祉協議会 他
 参加者 2名(幸区)

(5) 川崎市高齢者外出支援乗車事業(高齢者フリーパス交付事業)

70歳以上の高齢者や障害者等に対してフリーパスの販売及び交付業務を行いました。

場 所	令和元年度	平成30年度(参考)
福祉パルさいわい	3,017	2,873
陽だまり(河原町)	868	613
陽だまり(小倉)	2,745	2,608
合 計	6,630	6,094

令和元年度 高齢者フリーパス交付状況

月	施設名	1,000円 交付枚数	3,000円 交付枚数	6,000円 交付枚数	12,000円 交付枚数	福祉パス 交付枚数	総交付枚数
4 月	福祉パル	93	69	28	12	108	310
	陽だまり(河原町)	39	36	3	0	1	79
	陽だまり(小倉)	148	68	21	7	7	251

月	施設名	1,000 円 交付枚数	3,000 円 交付枚数	6,000 円 交付枚数	12,000 円 交付枚数	福祉パス 交付枚数	総交付枚数
	計	280	173	52	19	116	640
5 月	福祉パル	80	57	16	10	59	222
	陽だまり(河原町)	34	20	2	0	0	56
	陽だまり(小倉)	144	42	11	2	9	208
	計	258	119	29	12	68	486
6 月	福祉パル	82	65	23	12	87	269
	陽だまり(河原町)	42	25	2	3	2	74
	陽だまり(小倉)	135	77	15	8	13	248
	計	259	167	40	23	102	591
7 月	福祉パル	105	67	25	9	66	272
	陽だまり(河原町)	51	32	1	0	2	86
	陽だまり(小倉)	152	67	13	5	5	242
	計	308	166	39	14	73	600
8 月	福祉パル	87	63	20	7	42	219
	陽だまり(河原町)	42	15	4	0	3	64
	陽だまり(小倉)	123	57	11	4	6	201
	計	252	135	35	11	51	484
9 月	福祉パル	89	70	22	9	49	239
	陽だまり(河原町)	44	19	5	1	1	70
	陽だまり(小倉)	135	65	22	4	3	229
	計	268	154	49	14	53	538
10 月	福祉パル	77	74	30	7	63	251
	陽だまり(河原町)	49	32	1	0	3	85
	陽だまり(小倉)	146	71	14	2	6	239
	計	272	177	45	9	72	575
11 月	福祉パル	77	67	19	8	37	208
	陽だまり(河原町)	44	17	2	1	4	68
	陽だまり(小倉)	143	55	19	1	9	227
	計	264	139	40	10	50	503
12 月	福祉パル	74	70	23	10	50	227
	陽だまり(河原町)	53	17	3	0	0	73
	陽だまり(小倉)	145	80	14	5	3	247
	計	272	167	40	15	53	547
1 月	福祉パル	99	68	25	9	42	243
	陽だまり(河原町)	48	35	0	2	0	85
	陽だまり(小倉)	135	79	12	4	4	234
	計	282	182	37	15	46	562
2 月	福祉パル	81	62	17	10	41	211
	陽だまり(河原町)	43	19	2	1	1	66

月	施設名	1,000 円 交付枚数	3,000 円 交付枚数	6,000 円 交付枚数	12,000 円 交付枚数	福祉パス 交付枚数	総交付枚数
	陽だまり（小倉）	135	57	7	7	0	206
	計	259	138	26	18	42	483
3 月	福祉パル	69	46	17	16	198	346
	陽だまり（河原町）	42	13	4	2	1	62
	陽だまり（小倉）	114	61	16	3	11	205
	計	225	120	37	21	210	613
合計	福祉パル	1,013	778	265	119	842	3,017
	陽だまり（河原町）	531	280	29	10	18	868
	陽だまり（小倉）	1,655	779	175	52	76	2,737
	計	3,199	1,837	469	181	936	6,622

8 共同募金配分金事業

（１）地区社協の育成・援助

各地区社協が、それぞれの地域の中で様々に実践している活動がより充実し、円滑な運営が図られるよう連絡調整等の支援を行いました。

（２）「高齢者ふれあい活動」への協力

各地区社協およびボランティアグループ等が取り組んでいる「高齢者ふれあい会食会」、「配食ボランティア」、「ミニ・デイケア」等の運営に協力しました。

活動団体名		回数	会 場	高齢者延べ 参加人数
南河原		4	南河原老人いきいの家	221
御幸東	戸手	5	戸手町内会館	171
	戸手中部	5	御幸老人いきいの家	154
	戸手本町 2 丁目	5	神明神社社務所	194
	神明町	5	神明神社社務所	108
	小向町	5	小向町内会館	208
	小向仲野町	5	小向仲野町集会場	181
	小向西町	4	小向西町内会館	89
	オーベルグランディオ	5	オーベルグランディオ集会所	72
河原町		6	河原町の陽だまり	444
御幸西	古川・下平間ブロック	4	下平間老人いきいの家	174
	古市場ブロック	6	古市場老人いきいの家	312
	塚越	6	御嶽神社社務所	257
日吉第 1	鹿島田	6	鹿島田公会堂	244
	北加瀬	6	北加瀬原町公会	219
	北加瀬	5	谷戸公会堂	225
日吉第 2	南加瀬	6	中央町内会館	210
日吉第 3	小倉	5	小倉公会堂	317
	東小倉	6	しゃんぐりら喫茶室	203
	小倉	11	小倉公会堂	163

活動団体名	回数	会 場	高齢者延べ 参加人数
日吉第二地区民児協	5	辻町内会館	217
	22	中央町内会館	452
南河原さくら草の会	25	中幸町4-18	734
御幸東地区社協いきいきサロンやすらぎ	30	御幸集会所	913
いこいの館	44	パークシティ新川崎集会室	1,361

(3) 「地域リハビリ教室」への協力

各地区社協が中心となって実施している地域リハビリ教室に協力しました。

① すこやかサロン（南河原地区社協）

開催日 毎月第1火曜日 午後1時30分～3時30分

会 場 南河原老人いこいの家ほか

② ひろばかしまだ（日吉第1地区社協）

開催日 毎月第1金曜日 午後1時30分～3時30分

会 場 鹿島田公会堂

③ 脳とからだの若返りトレーニング教室（日吉第3地区社協）

開催日 毎月第1月曜日 午前10時～11時

会 場 小倉公会堂

開催日 毎月第1土曜日、第3木曜日 10時～11時

会 場 しゃんぐりら

(4) 地域ミニ・デイケア等の支援

各地区社協が中心となって実施している「地域ミニ・デイケア」等の支援を行いました。

① いきいきサロンやすらぎ（御幸東地区社協）

開催日 毎週月曜日 午前10時～午後3時

会 場 御幸集会所

延回数 30回

延人数 913名

② 語らいの会（日吉第2地区社協）

開催日 毎月第1木曜日 午前10時～12時／午後1時半～午後3時半

会 場 中央町内会館（偶数月）／辻町内会館（奇数月）

延回数 10回

延人数 203名

(5) 住民交流活動拠点事業

住民交流活動拠点は乳幼児から高齢者まで世代を超えた多くの地域の方々に利用していただき、「誰しものが顔見知りになれる」交流の場を目指しています。

平成30年度に「河原町の陽だまり」を開設し、陽だまりは区内3カ所となりました。

なお、「河原町に陽だまり」は補助金を財源として運営しており、共同募金配分金を財源としていませんが、地域交流活動拠点事業として、「8 共同募金配分金事業」に記載します。

① 小倉の駅舎陽だまり

「小倉の駅舎陽だまり」は、平成19年11月にオープンしてから12年が経過しました。

再利用者が多く、地域にとって憩いの場として定着しています。年齢・性別等を超えて、誰もが気軽に利用できる拠点として有効に機能しております。

○利用状況（令和元年度）

	新規登録	再利用	合 計
4 月	1 名	390 名	391 名
5 月	3 名	359 名	362 名
6 月	0 名	453 名	453 名

	新規登録	再利用	合 計
7 月	8 名	462 名	470 名
8 月	2 名	362 名	364 名
9 月	8 名	445 名	453 名
10 月	5 名	450 名	455 名
11 月	8 名	440 名	448 名
12 月	1 名	440 名	441 名
1 月	4 名	364 名	368 名
2 月	1 名	412 名	413 名
3 月	0 名	258 名	258 名
合 計	41 名	4,835 名	4,876 名

※ 開所日数 240日 1日平均 約20名（利用者数÷開所日数）

○新規登録利用者の年代

0～9 歳	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	不明
0 名	0 名	0 名	2 名	5 名	0 名	4 名	23 名	5 名	0 名	2 名

※ 合計 41名 延べ登録者数 1,730名

○新規登録利用者の住所

小倉	南加瀬	北加瀬	東小倉	他の幸区	川崎区	中原区	高津区	その他
18 名	15 名	1 名	0 名	3 名	1 名	1 名	2 名	0 名

※ 合計 41名

②塚越の陽だまり

「塚越の陽だまり」は、塚越3丁目さくらの公園内にあることもあり、赤ちゃんとそのお母さんの利用が多く、いつも大変賑わっています。高齢者向けにも、しゃんぐりら地域包括支援センターによるミニ講座や、健康長寿体操・童謡の会・絵手紙などのサークル活動を定期的に実施しています。

また、季節に応じて、節分、七夕などの行事を実施しました。

毎月、塚越・下平間地区を主な対象として「塚越の陽だまり通信」を発行し、行事の予定などを周知しています。

○地区別利用者登録状況（人数）

地域別	男	女	計	前期末 登録人数	前期末 比増減
塚越	258	799	1057	1007	50
古川・下平間	53	92	145	138	7
古市場	6	24	30	30	0
小倉・東小倉	40	139	179	167	12
御幸東・河原町	13	82	95	95	0
その他川崎市内	11	54	65	62	3
矢向（鶴見）	11	125	136	133	3
その他・不明	12	15	27	26	1
合計	404	1330	1734	1658	76

○地区別利用状況（人数）

月（開所日数）	塚越	古川・ 下平間	古市場	その他	見学者	子ども	トイレ	計
4 月（20 日）	297	16	0	57	40	32	22	464
5 月（19 日）	302	12	1	48	16	17	10	406
6 月（20 日）	326	10	1	44	14	14	5	414
7 月（22 日）	317	12	0	50	46	28	6	459
8 月（21 日）	310	20	0	54	52	68	9	513

月(開所日数)	塚越	古川・ 下平間	古市場	その他	見学者	子ども	トイレ	計
9月(19日)	276	11	2	46	19	5	13	372
10月(21日)	315	9	2	43	12	24	4	409
11月(20日)	297	20	1	49	9	5	9	390
12月(20日)	303	3	0	42	19	18	9	394
1月(19日)	302	11	0	39	15	9	4	380
2月(18日)	295	7	0	37	10	14	11	374
3月(21日)	310	5	1	27	20	5	30	398
合計(240日)	3,650	136	8	536	272	239	132	4,973

③河原町の陽だまり

平成30年度に、住み慣れた地域で安心して生活できるために、住民が集える居場所として、旧幸市民協働プラザに住民交流活動拠点「河原町の陽だまり」を開設し2年目を迎えました。

今年度は運営委員会において、運営の目標を「利用者を増やす！男性を陽だまりに引っ張り出す取組をする」「モデル事業終了後の財源を考えた運営をする」とし協議してきました。

気軽に立ち寄って、高齢者フリーパスを購入したり、お茶やコーヒーを飲んだり、手芸など趣味の活動ができる居場所であると共に、毎月第3火曜日のさいわい東地域包括支援センターによる講座開催や、単発での折り紙講座やカラオケの日の開催など、陽だまりのPRを考えた取組を行いました。

○運営委員会

日時	内容
6月4日(火) 午後7時30分～	1. 平成30年度運営のふり返り (1) 事業報告・会計報告 (2) 水光熱費の支出状況 2. 令和元年度運営について
9月2日(月) 午後7時30分～	1. 河原町の陽だまりの運営について (1) 令和元年度の運営について (2) その他
11月13日(水) 午後7時30分～	1. 河原町の陽だまりの運営について (1) 令和元年度の運営について (2) その他
2月6日(木) 午後7時30分～	1. 河原町の陽だまりの運営について (1) 令和元年度の運営について (2) 運営委員の改選について (3) その他

○利用状況

月	開所日	利用者数(延人数)	備考
4月	20日	199人	さいわい東包括講座
5月	19日	161人	さいわい東包括講座、折り紙講座
6月	20日	206人	さいわい東包括講座
7月	22日	212人	さいわい東包括講座
8月	21日	201人	さいわい東包括講座、カラオケの日
9月	19日	214人	さいわい東包括講座
10月	21日	198人	さいわい東包括講座
11月	20日	219人	さいわい東包括講座
12月	20日	169人	さいわい東包括講座

月	開所日	利用者数(延人数)	備考
1 月	19 日	169 人	さいわい東包括講座
2 月	18 日	191 人	さいわい東包括講座
3 月	21 日	111 人	さいわい東包括講座 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
合 計	240 日	2,250 人	平均 約 9.4 人/日

(6) 「みんなで子育てフェアさいわい」への参加・協力

幸区子ども総合支援ネットワーク会議が実施する部会に委員として出席し、「みんなで子育てフェアさいわい」の実施に参加・協力しました。

	開催日	内 容
第 1 回 部会	10 月 25 日	・ 第 14 回みんなで子育てフェア実施結果について ・ 第 15 回みんなで子育てフェア実施内容について 大雨により開催中止
第 2 回 部会	12 月 4 日	・ 内容の検討、決定、広報について ・ 必要物品確認依頼、役割分担
第 3 回 部会	1 月 30 日	・ プログラム、会場配置、役割分担・スタッフ配置、従事人数、消耗品等、掲示・装飾の確認
第 4 回 部会	2 月 21 日	・ 当日について (マニュアルの確認) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
第 15 回 みんなで 子育てフェア さいわい	2 月 22 日	・ オープニングセレモニー ・ パネル展示コーナー ・ お父さん、お母さんのための健康情報コーナー ・ 昔遊び、工作コーナー、バルーンアート ・ 焼マシュマロ体験、 ・ 親子でホッ つくってあそぼう ・ ダンボール迷路であそぼう ・ 手形を取ろう ・ 折り紙、あやとり、けん玉 ・ リラックス、ホッと休憩コーナー ・ 簡単・おいしい手作りおやつ試食 ・ 幼児安全講座 (A E D) ・ 親子体操 ・ 新聞ちぎり ・ 親子でゴー つくってあそぼう ・ お楽しみタイム ・ 地域ケアサポーターになろう ・ スタンプラリー 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
第 5 回部会	3 月 6 日	・ 次年度に向けて

(7) 子育て支援に関する啓発事業

- ①区社協機関紙「幸区の社会福祉」を通じ、子育て事業に関する記事を掲載。
- ②母親クラブへ子育て関係事業の情報を提供。
- ③幸区こども総合支援ネットワーク会議が実施する部会に委員として出席し、こども情報ネットさいわいの編集、発行に参加・協力しました。
令和元年度は 37 号、38 号、39 号を発行。

(8) 子育て支援機関との連携強化

- ①子育て関係機関、子育てグループ、公募委員等から構成された地域の子育てに関する情報誌「おこさまっぷさいわい」の編集委員会に参加しました。

(9) 地域の親子向け支援

事業名	開催日	内 容
プラザ祭り (世代間交流)	10 月 19 日(土) 20 日(日)	19 日：赤ちゃんよーいどん、手話体験、バザー、車椅子・高齢者疑似体験、健康味噌汁試飲、スタンプラリー、作業所販売、手作りスノードーム、缶バッジ作りほか 20 日：小地域福祉活動作品展、竹細工体験、作ってあそぼうコーナー、ぬりえ、オーナメントランプ作り、バルーンアート、皿回し、団体作品展、茶道体験ほか 会場：さいわい健康福祉プラザ、幸こども文化センター 共催：幸区民生委員児童委員協議会、幸こども文化センター

(1 0) 地域子育て支援促進事業

社協名	主な内容	会 場	参加人数
南河原	親子体操 おしゃべりタイム	南河原老人いきいの家	25
	応急手当のお話 おしゃべりタイム		49
	親子ふれあい遊び おしゃべりタイム		36
	手形・足形 おしゃべりタイム		52
	親子体操 おしゃべりタイム		62
	親子ふれあい遊び おしゃべりタイム		47
	クリスマス会 おしゃべりタイム		61
	歯のお話 おしゃべりタイム		53
	親子体操 おしゃべりタイム		43
御幸東	新入学を祝う会	タイムズスクエア	40
	キャンプ	神明神社境内	60
	ラジオ体操	オーバル広場	500 (延べ)
	花火大会		100
	ビンゴゲーム	戸手中部集会所	50
	スイカ割りとゲーム	小向町内会館前公園	35
	囲碁・将棋等	神明神社社務所	40
	バーベキュー祭り	第一児童公園	100
	こども祭り	マンション中庭	98
	クリスマス会	マンション会議室	55
	クリスマス会	マンション会議室	79
	餅つき大会	神明神社境内	40
	子ども節分祭り	西御幸小学校校庭	100
	囲碁・百人一首等	神明神社社務所	39
	餅つき大会	戸手町内会館	150
河原町	自由遊び	河原町県営集会所	11
	親子体操		22
	七夕作り		18
	すいか割り		52
	水遊び		15
	運動会		29
	木の実遊び		15
	親子体操		23

社協名	主な内容	会 場	参加人数
	クリスマス会		40
	小麦粉粘土		23
御幸西	母親クラブ2クラブへの助成	1万円×2クラブ	
	子育てサロン バンビひろば	下平間いこいの家	126
	七夕を飾りましょう	塚越の陽だまり	28
	ハロウィン		22
	サンタがくる		30
	節分		30
	ひなまつり		67
	あそぼーパン	東古市場中央公園	106
	あそぼーパン	下河原小学校校庭	
	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
日吉第1	手形・足形をとろう	北加瀬子ども文化センター	49
	七月飾りを作ろう		33
	プラバンキーホルダー作り		33
	ハートの小物入れ作り		28
	節分の鬼のお面を作ろう		41
	おひな様を作ろう		
	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
	鯉のぼりを作ろう	鹿島田公会堂	13
	楽しくおしゃべり		14
	粘土であそぼう		22
	うちわを作ろう		33
	手形・足形をとろう		37
	ハロウィンを楽しもう		31
	ミニミニ運動会		16
	クリスマス飾りを作ろう		28
	昔あそびをしよう		11
	おひな様を作ろう		21
日吉第2	子どもの健康講座		南加瀬原町会館
	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
日吉第3	親子遊び	小倉公会堂	34
	赤ちゃんハイハイ あんよの集い	日吉中学校	324
	幼児クリスマス会	小倉公会堂	72
	赤ちゃん相談（11回）	小倉公会堂	333
	※3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		

（１１）当事者グループ・ボランティア団体等支援活動
ボランティアセンター運営委員会の協議結果に基づき、グループ・団体等への活動助成として配分いたしました。【※５ 助成事業に配分詳細は記載】

（１２）年末慰問事業の実施

民生委員の協力により、77歳以上のひとりぐらし高齢者にお茶を配付いたしました。
お渡しするお茶の数が年々増加傾向にあったため、令和元年度にお茶の金額を見直しました。

お茶の配付事業	令和元年度	平成30年度	平成29年度
件数	2,600	2,550	2,400
金額(単位:円)	1,769,040	1,927,800	1,814,400

9 ボランティア活動振興事業

福祉事業におけるボランティア活動の重要性を踏まえ、幸区内のボランティア活動の充実を図るために、「幸区社協ボランティアセンター」を運営し、ボランティア相談、コーディネート、活動支援を実施しました。また、今後さらにボランティア活動の輪を広げるべく人材養成の講座等を開催しました。

本年度の新規のボランティア登録者は27名（再登録依頼者を含む）でした。

広報啓発については、ボランティアセンターのリーフレットを作成し、区民祭・プラザ祭り等のイベントにて配布いたしました。

(1) ボランティア相談

相談内容	件数	備考
ボランティア依頼	43	・傾聴 ・一芸 ・施設での手伝い ・軽作業
ボランティア希望	36	・余暇を利用してできる活動 ・特技を生かした活動 ・進路を考え決めるための活動など
福祉教育関連	0	
その他	3	・助成情報 ・講座情報など

(2) 運営委員会 ※第2回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

第1回	実施日	令和元年6月19日 10時～
	場所	福祉パルさいわい 研修室
	内容	1 令和元年度事業について 相談件数、 内容報告、 チャレンジボランティアについて 2 令和元年度ボランティアグループ、団体助成金について 3 その他
第2回	実施日	令和2年2月29日(土) 午前10時30分～
	場所	さいわい健康福祉プラザ3階 機能回復訓練室
	内容	1 令和元年度事業報告について ボランティア活動相談報告・相談件数・講座・福祉教育等

(3) ボランティア講座 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

『声』のボランティア、はじめてみませんか

開催日	令和2年3月16日(月) 午後1時30分～午後3時
場所	さいわい健康福祉プラザ2階 研修室
定員	25名

(4) ボランティア交流会 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

開催日 令和2年2月29日(土) 午後1時～午後3時

会場 さいわい健康福祉プラザ 3階機能回復訓練室

内容 ボランティア団体活動発表

グループワーク

交流

参加者申し込み 43名

(5) チャレンジボランティア(福祉体験学習)

小学生以上を対象に「チャレボラ2019」(夏休み福祉体験学習)を、川崎市社会福祉協議会等と共催で行いました。福祉施設や地域活動での体験を通して、次世代を担う子どもたちが地域社会の一員として自ら考え行動するボランティア活動について学ぶきっかけになることを目的としました。

日程 ①オリエンテーション:7月20日(土)～21(日)[4回開催]

②体験プログラム:7月22日(月)～8月15日(金)

③活動のまとめと振り返り:8月18日(土)

内容 子どもや高齢者の方、障がいのある方とのふれあいや、環境、地域イベント等
41プログラム

参加者 幸区プログラム参加者数 延べ35名

・幸こども文化センター夏祭りの手伝い&地域交流しよう(2日間)

・わくわくプラザで子どもたちと交流しよう(2日間)

・公園で遊び場づくりのお手伝いをしながら子どもたちと交流しよう(2日間)

・地域子育て支援センターのお手伝い&乳幼児と交流(3日間)

・老人福祉センターで高齢者の方と交流(エコたわし作りの体験)

・地域サロンで地域の方と交流(いきいきサロンやすらぎ)

・こぶし園(障害者施設)で利用者さんとの交流(楽器を使った音楽プログラム)

共催 川崎市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会、川崎授産学園、川崎市公園緑地協会

(6) 福祉教育

福祉教育において、講師派遣及び体験教材の貸出しをおこないました。

幸区社会福祉協議会 令和元年度福祉教育実績(講師、協力員の派遣)

学校等	実施日	対象	クラス	受講数	派遣(協力)講師	内容
下平間小学校	9/3	小4	4	87	芽の字会	点字について
	9/12	小4	3	87	太陽の会	聴覚障害の方の生活を知る 手話体験 当事者を団体より派遣
	9/13	小4	3	97	盲導犬ユーザー1名	視覚障害の方の生活について理解する(困りごとや工夫している点)
小倉小学校	9/12	小4	3	117	芽の字会	点字について
御幸小学校	8/28	小4	4	157	盲導犬ユーザー1名	視覚障害の方の生活について理解する(困りごとや工夫している点)
	9/12	小4	4	155	太陽の会	聴覚障害の方の困っていることをロールプレイを通して学び、自分たちができること考える 身近な言葉を手話で学ぶ(挨拶、スポーツ、教科等)
	9/13	小4	4	155	社協職員、地域包括支援センター、地区社協	高齢者・妊婦・視覚障害・車いす体験を実施 社協職員と地区社協が協力
	9/27	小4	5	186	盲導犬ユーザー1名	視覚障害の方の生活について理解する(困りごとや工夫している点)

学校等	実施日	対 象	クラス	受講数	派遣（協力）講師	内容
南河原 小学校	9/6	小 4	2	73	太陽の会 6 名	手話についての理解 体験の授業 当事者 3 名と手話通訳 3 名を団体より派遣
日吉小学校	9/17	小 4	6	202	盲導犬ユーザー 1 名	視覚障害の方の生活を知る 盲導 犬ユーザーに依頼
夢見ヶ崎 小学校	11/28	小 4	2	61	社協職員、地区社協民 生委員	高齢者・妊婦・視覚障害・車いす体 験を実施
小倉小学校	11/25	小 4	3	117	太陽の会	聴覚障害の方の生活を知る 手話 体験 当事者を団体より派遣
古川小学校	2/13	小 4	5	162	社協職員	「社協について」講義

幸区社会福祉協議会 令和元年度福祉教材貸出実績

学校等	実施日	学年	内容	体験グッズ貸出し			
				車いす	高齢者	妊婦	その他
南河原 小学校	9/2	小 4	高齢者・視覚障害		5		白杖
御幸小学校	9/13	小 4	高齢者・妊婦・視覚障害・ 車いす体験	3	5	5	白杖・新生児人形
古川小学校	9/27	小 4	高齢者・妊婦		4	5	
宮内小学校 (中原区)	10/21	小 4	視覚障害体験				ブラインドサッカー ボール
夢見ヶ崎 小学校	11/28	小 4	高齢者・妊婦・視覚障害・ 車いす体験	3	4	4	白杖 新生児人形

1 0 福祉パルさいわい受託経営事業

令和元年度における年間利用状況は以下の通りです。

	利用件数	利用者数
研修室	244	3,033
ボランティアコーナー	492	1,245

1 1 生活福祉資金貸付業務受託事業

神奈川県社協からの委託事業として、低所得者世帯・高齢者世帯・障害者世帯で生活困窮状況にある世帯の相談に応じ、関係機関・民生委員の協力を得て、生活福祉資金の適正な貸付業務を行い、各世帯の生活安定のための支援や、借受世帯の状況把握に努めました。

自立相談支援機関（だい J O B センター）・幸区役所（保護課・児童家庭課等）等、各関係機関と情報を共有し、連携を図りました。その他、川崎市役所・神奈川県社協等が主催する研修会に職員が積極的に参加しました。

転居先不明者の住所調査、長期滞納者への家庭訪問を実施しました。

○相談等対応結果 （単位：件）

資金種別	相談 (件)	決定 (件)	金額 (円)	辞退 取下げ (件)	金額 (円)
福祉資金（教育支援）	729	9	5,716,000	1	480,000
福祉資金（その他）		1	113,000	1	842,000
緊急小口資金	216	9	1,000,000	1	476,000

資金種別	相談 (件)	決定 (件)	金額 (円)	辞退 取下げ (件)	金額 (円)
不動産担保型生活資金	27	0	0	1	582,000
総合支援資金 (生活支援費)	41	0	0	0	0
総合支援資金 (住宅入居費)		0	0	0	0
総合支援資金 (一時再建費)		0	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
その他	81	0	0	0	0
合 計	1,094	19	6,829,000	4	2,380,000

1 2 金品援護事業

(1) 預託金品の受入れ

個人・団体からの預託金品を以下の通り受入れました。

預託金品	令和元年度	平成 30 年度
預託金件数 (のべ)	7 件	15 件
預託金額	1,159,337 円	307,956 円
預託品件数 (のべ)	6 件	18 件

○令和元年度寄附者名簿(受入順／敬称略)

平成 3 1 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 3 1 日

	氏 名	寄附金額 (円)
1	ラゾーナさくら会	34,192
2	川崎国際生田緑地ゴルフ場東急リゾートサービス・石勝エクステリア共同事業体	70,000
3	H U L A を楽しむ会 代表 西原雅代	25,000
4	キャノン株式会社矢向事業所(幸区民祭キャノンブースで募金にご協力いただいた皆様)	24,587
5	匿名	4,558
6	匿名	1,000
7	前島 純	1,000,000
のべ 件		1,159,337

	氏 名	寄附品名
1	公益社団法人スコレ家庭教育振興協会 (2 件)	手縫いの雑巾 (76 点)
2	匿名	ペン (116 点)
3	匿名	T シャツ他 (219 点)
4	手仕事の会	手縫いのバッグ他 (163 点)
5	匿名	切手(50 円×11 枚、80 円×11 枚、2 円×18 枚)
のべ 6 件		

1 3 老人いこいの家管理経営事業

新たに令和元年度から 5 年間の指定管理者として指定されました。今期は川崎市社会福祉協議会とともに指定管理者となり、更なる管理運営体制の強化に努め、高齢者に対し健全ないこの場を提供しました。

地域の拠点施設として総合相談窓口の役割を担い、利用者の日常生活の不安を解消するため

の助言を行いました。さらに利用者の心身で気になる点、心配な点については支え愛フェイスシートにて地域包括支援センターとの情報共有化も行いました。

また、安全管理に重点をおき、補修等について川崎市との協議を重ね、不良個所の整備に努めました。

○利用状況一覧表（年間合計利用人数）

	南河原	御幸	下平間	古市場	日吉	小倉	合計
利用人数	12,330	16,700	13,558	6,868	7,623	14,396	71,475
教養講座 受講者数	366	384	604	378	188	681	2,601
入浴人数	1,281	3,284	619	0	2,379	422	7,985

※古市場老人いこいの家は、ボイラー故障のため入浴事業を中止していましたが、修理不可のため令和2年1月21日に入浴事業を廃止しました。

○いこいの家まつり開催状況

	開催日程	内 容	参加人数
南河原	11月9日(土)	自主講座の発表会(カラオケ・踊り・フラダンスなど)、豚汁サービス、展示コーナー(俳句・書道・絵手紙など)、ふれあい体験コーナー(囲碁・将棋)、相談コーナー	218名
小倉	11月9日(土)	演芸コーナー(フラダンス・琉球舞踊・民謡・輪踊り・ハーモニカ・カラオケ)、ふれあい交流コーナー(わなげ・ゲートボール・輪おどり・囲碁将棋・介護相談)、展示コーナー(書道・手芸・絵手紙・小倉こ文の作品展示)、飲食コーナー(豚汁無料サービス)おにぎり、お茶販売、お楽しみ抽選会、御幸日中活動センターによる作品展示・作品販売、小倉こ文との交流(こども達がまつりを手伝い)	293名
下平間	10月26日(土)	舞台発表(教養講座やサークルの活動発表)、下平間こども文化センターの子ども達によるダンス、各団体による催し(カラオケ・フラダンス・舞踊・民謡・太極拳・ハーモニカ)、作品展示(書道・なごみ会)、抹茶コーナー、飲食コーナー(おにぎり・けんちん汁)、合唱、お楽しみ抽選会	220名
御幸	11月16日(土)	作品展示(ぬり絵・絵手紙・手芸・短歌・切り絵・書道)、舞台発表(踊り・詩吟・朗読・体操・御幸中学校生徒によるよさこいソーラン・ウクレレ・フラダンス等)、日中活動センターの利用者作品の物販、飲食コーナー(おにぎり、もみじまんじゅう、みそ汁、ようかん)、幸日中活動センターによる作品展示・作品販売	329名
日吉	10月26日(土)	舞台発表(フラダンス・コーラス・歌・踊り・合唱)、地域包括支援センターによる介護相談コーナー・夢見亭わっぱ師匠(落語)、抽選会、展示コーナー(書道・盆栽・子ども達の作品・地区社協の活動展示)、ふれあい体験コーナー(手芸)、飲食コーナー(おにぎり・おしるこサービス)、こぶし園・セルフきたかせ・パセオやがみ(製品販売)、北加瀬・南加瀬こ文との交流(こども達がまつりを手伝い)	230名
古市場	12月1日(土)	舞台発表(民謡・詩吟・カラオケ・フラダンス・ハーモニカ)、作品展示(押し花・手芸・俳句・絵手紙)、体験コーナー(押し花・手芸「消しゴムスタンプ」)、飲食コーナー(おにぎり・豚汁・おでん・おしるこ)、お楽しみ抽選会	185名

○管理人研修への参加

名 称	実施日	内 容	参加者
新任研修	6月3日	川崎市社会福祉協議会主催の研修に管理人が参加 ・社会福祉協議会について ・老人いこいの家とは ・川崎市の老人いこいの家 ・管理と運営 ・老人いこいの家での地域活動 ・川崎市社会福祉協議会と老人いこいの家	1名
幸区内の老人いこいの家公衆浴場の管理教育	6月4日 6月6日 6月13日	独自作成の「幸区内の老人いこいの家公衆浴場自主管理マニュアル」を基に管理人教育 ・公衆浴場における衛生等の向上及び確保を図る目的とは ・浴場の清掃・水質・環境管理 ・入浴利用者の衛生・風紀管理	18名

名 称	実施日	内 容	参加者
日吉老人いこいの家土砂災害対応教育	6月18日 6月27日	独自作成の「土砂災害対応マニュアル(日吉老人いこいの家)」を基に管理人およびアルバイト教育 ・マニュアルの目的 ・土砂災害警戒区域の把握 ・災害情報の収集、防災体制 ・緊急連絡網。避難、避難経路、避難手順	5名
老人いこいの家管理人の服務教育	7月5日 7月8日 7月10日	独自作成の「幸区老人いこいの家管理人の服務」を基に管理人教育 ・管理人が職務に服する場合に守らなければならない義務や規律の教育	18名
洪水に備えて	7月8日 7月10日 7月12日	独自作成の「洪水に備えて(幸区内老人いこいの家洪水時の避難確保計画)」を基に管理人教育 ・計画の目的 ・計画の適用範囲 ・施設の洪水リスクの確認 ・防災体制 ・情報収集及び伝達 ・避難誘導 ・避難の確保を図るための施設の整備	18名
気象各種警報発令時の対応マニュアル教育	7月24日 8月9日 8月14日	独自作成の「幸区内老人いこいの家気象各種警報発令時の対応マニュアル」を基に管理人教育 ・総則 ・警報について ・各種警報発令における「休館」及び「開館」の判断 ・防災気象情報の警報発令及び土砂災害警戒情報の避難勧告発令による管理人の勤務について ・休館のお知らせポスター掲示以前に利用目的で入館された方への対応 ・対応の報告	18名
幸区認知症サポーター育成講座	12月6日	幸区役所地域みまもり支援センター地域支援課主催の講座に管理人が参加 ・NPO 法人楽からの講話 ・認知症サポーターって？ ・認知症に関する基本的な講話	1名
障害のある方へのサポートブック市職員向け教育	12月2日 12月4日 12月6日	川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課発行の「障害のある方へのサポートブック市職員向け」を基に研修 ・障害の理解(視覚、聴覚、盲ろう、肢体、内部、知的、発達、精神、難病を原因とする障害など) ・対応する際の配慮(案内、誘導、相談・説明、手続き、行政情報の提供、市民を対象としたイベント等の開催など)	18名
ヘイトスピーチへの対応について	12月17日 12月18日 12月20日	2018年2月5日の川崎市『ヘイト解消法に基づく「公の施設」利用許可ガイドライン説明会』の資料を基に研修 ・基本的な考え方 ・ヘイトスピーチへの対応に関する事務フロー ・川崎市老人いこいの家条例(第1・7・8・9条) ・川崎市老人いこいの家団体利用要綱(第1・2・3・5条)	18名
いこいの家・老人福祉センター活性化計画(いこい・老センアクティブプラン)	12月23日 12月26日 1月6日	川崎市発行の計画を基に研修 ・計画の目的と位置づけについて ・老人いこいの家について ・課題と今後の方向性について	18名
社会福祉施設等における今冬のインフルエンザ総合対策の推進について	1月8日 1月10日 1月15日	厚生労働省の発行物を基に研修 ・インフルエンザの予防に向けて普及啓発活動や施設内感染防止対策等を引き続き推進 ・「令和元年度インフルエンザQ&A」の周知と予防策の徹底 ・積極的な情報提供等の協力	18名
社会福祉施設等におけるノロウイルスの感染症・食中毒予防について	1月8日 1月10日 1月15日	厚生労働省の発行物を基に研修 ・手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理等の感染予防対策の啓発に努める ・感染症発生の防止、発生状況の把握、感染の拡大防止、医療処置、行政への報告など ・「ノロウイルスに関するQ&A」の周知と予防策の徹底	18名

名 称	実施日	内 容	参加者
新型コロナウイルスについて	2月3日 2月5日 2月7日	厚生労働省発行のQ&Aを基に研修 ・コロナウイルスはどのようなウイルスですか？ ・武漢市での新型コロナウイルス関連肺炎事例の概要は？ ・予防方法はありますか？ ・新型コロナウイルスに関連した肺炎患者に関する相談は、神奈川県新型コロナウイルス肺炎専用ダイヤル、厚生労働省電話相談窓口	18名
ストーマ&手術後の方、入れ墨の方の入浴について	2月4日 2月5日 2月7日	独自作成の「ストーマ&手術後の方、入れ墨の方の入浴について」を基に研修 ・自力で入浴が可能であること、ただし、自力入浴が不可の場合は介助者がいること ・入浴において相互感染の恐れがないこと、なお、いこいの家での入浴を医師が許可していること ・複数人数での合同入浴に支障がないこと ・入浴開始の時間帯について ・入れ墨の方の入浴は拒否しないこと、ただし、脅迫行為を確認した場合は、川崎市、市社協、区社協で協議して結果を本人に通達する	18名
防災訓練	9月25日 10月1日 10月3日 10月10日 10月23日 10月29日 2月4日 2月5日 2月7日 2月10日 2月15日	消防署届出の消防計画に基づき、2回/年の防災避難訓練(火災・洪水・土砂)を各館で実施(利用者も参加) ・火災発生時の避難シナリオに基づく訓練 ・土砂災害対応マニュアルに基づく訓練(対象：日吉) ・「洪水に備えて」に基づく訓練	196名
市民救命士養成講習	1月30日 2月20日	市民救命士養成講習(普通救命士講習Ⅰ) ・心肺蘇生法 ・AED使用方法 ・止血法 ・異物除去法	18名 老い職員 3名

○地域交流に関する取組み

こども文化センターや学校、教養講座の講師等と連携し、児童、生徒、近隣の親子等と老人いこいの家利用者が、作品作りや行事を通して交流する事業を実施しました。

施設名	実施日	内 容	参加者
南河原	4月27日	南河原こども文化センターのこども達が5月のこどもの日を祝い作成した作品(鯉のぼり)をいこいの家ロビーの壁に掲示	多数
	7月22日	絵手紙講座(教養講座)に南河原こども文化センターのこども達を招いて絵手紙作成を通して交流	33名
御 幸	1月22日	御幸中学校の生徒、幸こども文化センターのこども達といこいの家利用者と卓球による交流	33名
下平間	7月27日	下平間こども文化センターのこども達、わくわくプラザを利用しているこども達や近隣の親子と老人いこいの家利用者と一緒に、小物ケースやペン立て等作成を通して交流	23名
	8月3日		26名
	8月10日		21名
	8月24日		25名
古市場	1月9日	いこいの家を利用して御幸西第2民児協が実施している子育てサロンにいこいの家で自主活動をしているグループがハーモニカ演奏などで参加し交流	34名
日 吉	10月26日	北加瀬・南加瀬こども文化センターのこども達が、いこいの家まつりのスタッフとして参加し、まつりの参加者等と交流	230名
小 倉	11月9日	小倉こども文化センターのこども達が、いこいの家まつりのスタッフとして、また、御幸日中活動センターの自主製品販売の手伝いをしながら、まつり参加者等と交流	293名

1 4 さいわい健康福祉プラザ（老人福祉センター）管理経営事業

幸区社会福祉協議会が管理・運営している「さいわい健康福祉プラザ（老人福祉センター）」は、川崎市在住の60歳以上の高齢者に対し健康増進や教養の向上、またレクリエーションなどの機会を総合的に提供するとともに、高齢者に関する各種の相談にも応じ毎日の生活を豊かに過ごして頂けるように地域や高齢者を結ぶコミュニティ施設としての役割も果たしてまいりました。

コミュニティや世代交流づくりの一つとして実施する『プラザ祭り』は、昨年度に引き続き、幸区民祭と同日開催とし2日間開催したところ、より多くの住民の方に当施設を認知していただくことができました。

また、高齢者のマンパワーを活かしかつ生きがい促進になる行事として自由参加の「手仕事の会」を通年開催しました。地域の方や利用者の方が持ち寄った、毛糸や生地から、エコたわし、ひざ掛け、お手玉等を製作し、区内の地区社会福祉協議会、こども文化センター、乳児院に寄附を行いました。会の参加利用者からは、楽しみながらもやりがいを感じ、新たな知り合いが増え社会貢献にも繋がると好評でした。

介護予防の取組みとして、また利用対象者の健康志向の高まりによるニーズ増加に応え、今年度も運動系講座を事前申込みや予約を必要としない自由参加としました。運動系講座については特に人気が高く今後も引き続き継続して実施してまいります。また、講座開講に当たりましては健康寿命の延伸や介護予防を視野に入れ利用者ニーズを的確に反映させて多くの方が参加可能な講座内容とするように努めてまいります。

講座以外にも看護職員が、相談時間の合間に来所者に声掛けを行い、手軽な脳トレやストレッチを実施しました。また、情報伝達手段として目覚ましい普及を遂げているスマホ・タブレットの利用方法を理解し、便利さを実感したいとの要望に応え、IT専門集団NPO法人の協力を得て実施しているスマホ・タブレット講座も、昨年度に引き続き、参加者の習熟度別に2種類に分けて開催し、様々なニーズに対応いたしました。

（1）さいわい健康福祉プラザ（老人福祉センター）利用状況

ア 新規登録者数 合計 272名（延べ登録者数7,763名）

イ 年間利用者数 合計 36,799名（昨年41,752名）

〔男性 5,851名（昨年 6,784名）

女性 18,948名（昨年20,968名）

プラザ祭り 12,000名

（内訳）

・一般利用者 合計 5,622名 ※プラザ祭りを除く

（うち看護師による健康相談等 1,518名：再掲）

うち入浴利用者 合計 1,873名

・団体利用者数 合計 10,752名（58団体登録）

・講座出席者数 合計 5,966名

・行事参加者数 合計 1,527名（プラザ祭り当日を除き77行事実施）

うち医師による健康相談 合計 7名

・プラザ祭り 合計 12,000名

・その他 合計 932名（団体抽選会、団体懇談会、講座申込等）

ウ 相談事業

・健康相談…月4回、嘱託医として内科医、整形外科医が交代で健康に関する相談事業を行いました。

〔内科医相談件数（第1・第3水曜日）合計 2件

整形外科医相談件数（第2・第4火曜日）合計 5件

・生活相談…職員が随時対応（看護師による、健康相談・血圧測定実施）

エ 講座…平成31年4月から令和2年2月にかけて30講座を開催しました。

オ 行事…利用者の日ごろの成果を発表する「敬老のつどい」、「プラザ祭り」、事前申し込み不要で気軽に参加できる運動系、文化系行事、散策をはじめとする

季節や歳時行事等を実施しました。

※3月に実施を予定していた講座・行事は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止としました。

1 5 日常生活自立支援受託事業（幸区あんしんセンター）

判断能力が低下している高齢の方や障害のある方が、地域の中で自立した生活を送ることができるよう、関係機関と密に連携を図りながら事業を実施することができました。

（１）日常的金銭管理サービス利用者数	４９名
（２）書類等預かりサービス利用者数	１０名
（３）相談件数（初回）	８６件
（４）相談件数（継続）	１，２９９件

1 6 川崎市幸区支会団体事務（共同募金運動）

神奈川県共同募金会の主導による共同募金運動に、町内会・自治会を中心とした各地区分会の協力のもと、一般募金約８８．０％、年末たすけあい募金約９０．６％の達成実績をあげることができました。

一 般 募 金 実 績	１４，０４１，６５４円
年末たすけあい募金実績	９，７８２，７８２円

年末たすけあい運動の配分事業として区内の申請をいただいた要援護世帯に対し配分を行いました。

要 援 護 世 帯 配 分	１，９０５，０００円【３８１世帯】
---------------	-------------------

2019年度										福祉パル										研修室利用状況									
(1)月別利用件数及び利用者数(時間別・曜日別)																													
月	開室可能件数					利用件数					利用率	時間帯別件数・利用者数					曜日別件数・利用者数					計							
	午前	午後	夜間	平日	土曜・日曜	合計	利用件数	利用者数	合計	利用件数		利用者数	合計	午前	午後	夜間	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4月	26	26	8	48	8	4	60	23	273	38.3%	11	143	7	71	5	59	23	273	18	224	5	49	0	0	23	273			
5月	23	23	8	46	6	2	54	21	273	38.9%	11	189	6	52	4	32	21	273	17	245	4	28	0	0	21	273			
6月	27	27	8	48	10	4	62	27	320	43.5%	15	184	7	57	5	79	27	320	22	267	5	53	0	0	27	320			
7月	28	28	9	53	8	4	65	27	394	41.5%	13	244	8	93	6	57	27	394	22	334	5	60	0	0	27	394			
8月	28	28	9	51	10	4	65	24	148	36.9%	13	78	10	59	1	11	24	148	22	130	2	18	0	0	24	148			
9月	25	25	8	46	8	4	58	23	267	39.7%	11	134	7	87	5	46	23	267	19	221	4	46	0	0	23	267			
10月	27	27	8	50	8	4	62	18	201	29.0%	9	88	5	69	4	44	18	201	16	185	2	16	0	0	18	201			
11月	25	25	9	49	8	2	59	16	211	27.1%	10	144	3	35	3	32	16	211	12	169	4	42	0	0	16	211			
12月	26	26	8	48	8	4	60	21	351	35.0%	12	212	6	91	3	48	21	351	16	287	5	64	0	0	21	351			
1月	25	25	8	46	8	4	58	15	177	25.9%	7	81	4	54	4	42	15	177	11	141	4	36	0	0	15	177			
2月	25	25	7	45	8	4	57	19	295	33.3%	9	137	6	110	4	48	19	295	15	257	4	38	0	0	19	295			
3月	27	27	7	47	10	4	61	10	123	16.4%	3	33	7	90	0	0	10	123	9	113	1	10	0	0	10	123			
合計	312	312	97	577	100	44	721	244	3,033	—	124	1,667	76	868	44	498	244	3,033	199	2,573	45	460	0	0	244	3,033			
利用率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.8%	39.7%	—	24.4%	—	45.4%	—	—	—	34.5%	—	45.0%	—	0.0%	—	—	—	—		

※開室可能件数…午前・午後・夜間をそれぞれ1件とカウントし、時間帯別に示した開室可能件数です。

※時間帯別件数・利用者数、曜日別件数・利用者数…同一時間帯に複数団体が利用した場合（研修室を仕切る、時間をずらす等）は、団体ごとにそれぞれ1件とカウントしてください。

また、1つの団体が時間帯をまたいで利用した場合は、時間帯ごとにそれぞれ1件とカウントしてください。

時間帯別件数・利用者数、曜日別件数・利用者数それぞれの合計は全て同じになります。

※利用率…開室可能件数に対して実際の利用件数の割合です。同一時間帯の複数団体の使用により100%を超えることもあります。

令和元年度事業報告は、社会福祉法施行規則第2条の25に規定する事業報告書の付属明細書に記載する事項（事業報告の内容を補足する重要な事項）は全て本事業報告書に記載をしているため作成しない。